

子どもたちといっしょに

「おふろだいすき」

松岡 享子 作  
林 明子 絵

(福音館書店)



お風呂ってなんだか不思議な世界のような気がしませんか？毎日の生活の中で着ている服を脱いでお湯につかるなんてことは、それ以外にないわけですし。みんなで作を洗って、しゃぼん玉が飛んだりすると本当に不思議の世界にいるようですよね。

「おふろだいすき」はいつものように「ぼく」があひるのプッカをつれてお風呂に入っていると…かめやペンギンやオットセイが次々に出てきて動物園が水族館みたいになってしまいます。最後にはくじらまで出てきて楽しいバスタイム。くじらが入れるお風呂っていったいどんな大きさなんだろうと思いますが、みんながお風呂に入っている絵はとても楽しそうです。

子どもが想像する世界をすごく上手に描いている絵本です。お風呂が嫌いな子も好きになってくれるかもしれません。

第69回読書会

「小人たちの新しい家」

(岩波書店)

×アリー・ノートン 作

猪熊 葉子 訳

日時 7月16日(日) 午後2:00～

(しろね図書館友の会

場所 白根学習館 ルーム2

しろね図書館 共催

7月の行事

ブックバス



1 (土)	開館6周年おはなし大会 3:00～4:30	15 (土)	おはなし会 3:00～	大通地C 14:30～15:00 根芽農公 15:30～16:00
2 (日)	「子どもと本との架け橋になろう」 1:30～3:30	16 (日)	第69回読書会 2:00～	
5 (水)	絵本のじかん 3:00～ 根芽小 13:10～13:50 大鷲小 14:30～15:45	19 (水)	絵本のじかん 3:00～	根芽小 13:10～13:50 大鷲小 14:30～15:45
6 (木)	白根北中 13:10～14:00 大通小 14:30～16:30	20 (木)		白根北中 13:10～14:00 大通小 14:30～16:30
7 (金)	小林小 10:10～10:40 白根小 13:00～13:50	22 (土)	おはなし会 3:00～	新飯田農公 14:30～15:00 戸石公 15:30～16:00
8 (土)	おはなし会 3:00～	25 (火)	雑誌リサイクル	
12 (水)	第38回おはなし会 絵本のじかん 3:00～	28 (金)	第7回図書館員になってみる日	
13 (木)	白根中 12:55～13:35 左瀬地C 14:00～14:40 左瀬小 15:00～15:45	29 (土)	おはなし会 3:00～	大通地C 14:30～15:00 根芽農公 15:30～16:00
14 (金)	臼井中 12:55～13:35 臼井小 14:00～15:45	* 毎週月曜日と月末は休館します		

# しろね図書館だより

No. 74

発行 新潟市立白根図書館

平成18年7月1日

7月、今年も半分が過ぎました。夏はすぐ目の前まで来ています。夏といえば、プール・海・キャンプ・バーベキューなどの屋外イベントがいっぱいありますが、図書館に来て好きな本を好きなだけ読んでみるのはいかがでしょうか。図書館は誰でも気軽に入れる場所です。そして、本はみなさんのもので、みなさんに読まれる日をずっと待っています。

もうすぐ夏休みも始まります。親子で「こんな本があるよ」「この本がおもしろいよ」とか教えあうのも楽しいと思います。

プールや海もいいですが、372-5510(ゴーゴートショカン)！  
SHIRONETOSYOKANS SHIRONETOSYOKANS SHIRONETOSYOKANS

\* 一日図書館員募集! 【図書館員になってみる日】 \*

本が好き、図書館が好きの人みんなあつまれ!

夏休みになるけど、今年は何をしようか考えている人はいませんか? そんな人も図書館員になってみよう! 図書館の裏の裏が見られるかも!?

▶ 日時 7月28日(金) 午前の部 9:00～11:30

午後の部 14:00～16:30

★ 午前か午後がどちらかを選んで下さい

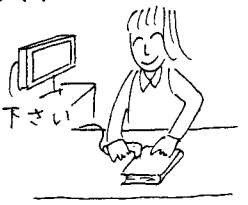
▶ 参加資格 小学校6年生、中学校1・2年生

▶ 募集人数 午前の部……9名

午後の部……9名

★ 申し込み多数の場合は抽選になります

▶ 申し込み 新潟市立白根図書館 025-372-5510



6月の

来館者 ----- 14,459 人

貸出冊数 ----- 15,850 冊

予約件数 ----- 247 件

ブックバス利用者 ----- 1,001 人

ブックバス貸出冊数 ----- 2,325 冊

リクエスト情報 (しばらくお待ち下さい)

1位 東京タワー (16名)

2位 ダヴィンチ・コード 上下 (13名)  
ハリ・ポッターと謎のプリンス 上下

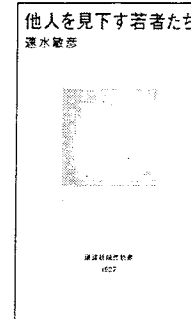
4位 明日の記憶 (7名)

容疑者Xの献身

6位 陰日向に咲く (6名)

## 他人を見下す若者たち

速見俊彦 著  
講談社現代新書  
(一般 371ハ)



最近の人間社会では、些細なしぐさや語り方が相手の感情をひどく傷つけ、増悪や怒りを掻き立て、思いもよらない行為に走らせる。また、他人同士の対立だけでなく、夫婦間の対立も多く、離婚率は年ごとに増加してきている。

さらには、昔は最も自然なことで考えられていた親子間の深い愛情関係すら否定されるような残酷な事件も生じている。このようなニュースに接していると、日本国じゅうに怒りが渦巻いている現代社会である。一方で、学びも働きもしない、職業訓練も受けようとしないニートが増加している。さらに、子どもの学力低下が指摘され、覇気のない日本の若者像に落胆し、日本の将来を憂える人が少なくない。

このような世の中の動きを左右している人間の感情や「やる気」のあり方が今大きく変わろうとしているのではないか。今、人と人との親密なつながりが失われつつある現実の中で、少子化の影響で小さい頃から大切に育てられ、苦勞をせずに楽しいこと、面白いことに浸ってきた若者にとって、見知らぬ社会を一人だけで歩いていくことは恐怖でもある。欲しいものを何でも買い与えられ、有り余る時間を自分のために使ってきた人たちが、厳しい現実の競争社会の中でまともに生きていくことは難しい課題である。

しかし、若者はそれを乗り越える術をいつのまにか修得してきたようにも見える。それは、おそらく本人自身もあまり気づいていない無意識的なもので、個人主義的文化を担った人たちが、さらには、ITメディアの影響を受けた人たちがいつのまにか身につけた「自分は他人に比べてエライ、有能だ」という習慣的な感覚を「仮想的有能感」と呼び本書においては、特に若者を中心とした、仮想的有能感について多くのデータを基に事例が紹介されている著書である。

星島 等

## 第68回読書会

平成18年6月18日(日)  
午後2時～ 参加者4名

### 『空色勾玉』

(徳間書店)

荻原規子 作



神々がまだ地上に住んでいた頃の古代日本を舞台とした物語。

「闇」の巫女姫と「輝」の御子との不思議な運命を描いた話題のファンタジー。

☆☆ 参加者の感想 ☆☆

☆日本のファンタジーをはじめて読んだが、児童書なのか、やたらにルビがふっつていてな

かなか入っていけなかったが、狭也が「輝」の宮に入っていくころから俄然面白くなっていき、その後は引きずり込まれるように読んだ。

☆神の話であるが男女間の問題が強く、興味があった。外国のものに慣れているせいか、日本のファンタジーは難しかったが読んでみると非常に面白かった。

☆友達勧めで読んでみたが、登場する神々の名前が日本書記や古事記等のイメージがあり、わりとすんなり物語の中に入ることができた。

☆日本の漢字は文字を見ただけで、イメージ(神様が湧いてくるが、カタカナではそうはいかない。古代日本の優艶さが感じとれた。

☆ルリグウインの世界と相通じるものがあり、文学の世界は同じだと思った。

☆物語全体に神々の壮大さを感じると同時に日本の漢字文化の奥深さを感じた。

☆稚羽矢は無垢ではあるが、奥には偉大な力が潜んでいると感じた。

☆子供のころに神話の話をよく読んだが、いまの子供たちはそれらと接する機会が少ないように思う。もっと日本の古代文化にふれて欲しい。

☆この物語は、アニメにしても面白いと思う。もっと日本にこのようなファンタジーが育つてくれることを期待する。

☆ファンタジーは、その中に入るまでなかなか難しいが、いったん入ってしまうと、すんなり受け入れることができ、その後は物語の中に、のめりこんでいってしまう不思議な魔力を持っている。

次回の読書会は、5月に行う予定でしたが、参加者が少なかったために中止しました『小人たちの新しい家』を再度実施します。多数の参加をお待ちしています。

(坂井 治一)